



第 1 1 回例会報告 (9月16日)

【 出席報告 】

・ 会員数	51名	・ 出席数	33名	・ 欠席数	18名
・ 当日出席率	73.17%	・ 前々回修正出席率	100%		

< 欠席会員 > 原(竜)、檜垣(巧)、飯、菅、金森、吉良、松木、岡田、竹田、瀧幸、徳丸
 [免除会員] 青野、原田、松本、宮本、村上、野間、八木
 < 9/2欠席補填 > (9/13今治北)原(竜)、檜垣(俊)、近藤(巧)、飯、竹田、瀧幸

幹事報告・9月23日(木)祝日のため休会です。次回例会は9月30日(木)清掃奉仕・早朝例会です。早朝6:30より市民の森・フラワーパークの清掃開始。7:00より例会開催。尚、雨天の場合は例会のみ行います。

- ・9月23日(木)秋分の日、3RC合同親睦ゴルフ大会、親善軟式野球大会を開催いたします。参加される皆様はよろしく願いいたします。
- ・小豆島RCより、創立50周年記念誌が届きました。

ロータリー情報委員会アワー

檜垣圭之介委員長:本日は、新入会員の方もいらっしゃいますので、ロータリーの歴史から、現状までお伝えさせていただきます。20世紀初頭のアメリカは経済恐慌で人心はすさみ、犯罪は巷に満ち、これを憂えたシカゴの一青年弁護士ポール・ハリスは、よい社会をつくるためには、人の和を図り、世の中に奉仕する気持ちを多くの人々が持つようになることが大切だと考えました。ポール・ハリスは1905年2月23日、この理想をひろく人々に呼びかけるための第1回の会合を持つに至りました。ロータリーとは、集会を順番に、会員が各自の事務所で持ちまわって開くことから名付けられました。この理想は着々と実現され、1908年には2番目のクラブがサンフランシスコに作られ、1910年にはアメリカ国内クラブ数が16を数え、さらにカナダ、イギリスへと国際的広がりをもって発展し、ここにロータリー国際連合会ができ、1922年には国際ロータリーと呼ばれることになったのです。こうして今では世界200カ国以上の地域に広がり、クラブ数33,976、会員総数1,228,303人に達しています。日本のロータリークラブは、大正9年(1920年)10月、その頃の三井銀行重役米山梅吉氏が、国際ロータリーから委任されて東京に設立したのが始まりです。ところが、太平洋戦争直前の昭和15年には国際団体に対する圧迫がロータリーにも及び、ついに日本のロータリーは国際ロータリーから一時脱退しなければならなくなりました。昭和24年3月、国際ロータリー復帰を認められ、以来目覚ましい進展を続け、現在クラブ数2,236、会員総数100,400人(平成17年6月現在)に及び、現在なお国内の全ての都市にクラブができるよう努力が続けられています。さて、我がクラブの歴史ですが、創立はS9.10.17大阪クラブがスポンサークラブとなり、全国で13番目、初期メンバー20名です。S15年、戦争の為休会しましたが、ロータリーの本質を忘れることのないようメンバーは集まり会合を開催していました。S26年今治青少年友の会発足。50周年、75周年と、歴史と伝統のある今治RCとして今後も発展することを願っています。



< ゲスト > 伊予銀行 取締役今治支店長 藤堂宗昭氏

次回例会 (9月30日)

【 清掃奉仕・早朝例会 】

日時 : 9月30日(木)早朝6:30清掃開始、7:00より例会

場所 : 市民の森・フラワーパーク

例会後は、パン(サンドウィッチ)・飲み物をご用意しております。

雨天の場合は7:00より例会のみ開催、当日はロータリーバッジの着用をお願い致します。

[パン・飲み物]